校園長室から

学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

・いのちを大切にできる子ども　・だれとでも仲良く協力し合う子ども
・意欲をもち学習する子ども　・ねばり強くはたらく子ども

令和６年９月１２日 第２１号

はじめての体験

明日１３日は、先日の土曜授業の振替で休業です。そして、町は試験引き一色。いよいよ祭礼。熱中症などに気を付けて楽しんでください。

祭り前ということで、最近体験したお話を……。

事の始まりは、夏休みに受けた人間ドッグ。年々警告を表す赤い数字が増えていくのですが、今回はじめて「再検査」表示されました。少年時代から通う行きつけ医に相談すると、大きな病院で検査したほうがいいと、はじめて紹介状なるものをいただきました。

検査当日は、帰りにヘロヘロになるので自動車では来ないようにと。はじめて南海浅香山駅で降りて徒歩。到着してしばらくすると１.８リットルの下剤のボトルが置かれます。当然、はじめての出会い。２時間かけてゆっくり飲んでくださいと。

小部屋に一人でテレビを見つめながら下剤をちびりちびり。『違う飲み物なら楽しいのに』とつぶやきながら。

１２時近くになって看護師さんが現れて「点滴しますね」と。なんとこれが人生初点滴。腕に針を刺しながら、点滴をぶら下げた機械と一緒に何度もトイレを往復するのに一苦労。これも本当に初めての体験。

病院で戦っている患者さんの気持ちが少しわかりました。

「ボーっといする薬に変えますね」と点滴を入れ替えられたところまで記憶があるのですが、検査した実感は皆無。

ただ、検査する前、下剤を１.２リットルほど飲んだ時のこと。「白くなったら教えてください」と看護師さん。

そして、白くなったのを報告すると、なんと……。はじめての体験でした。